

## 学校経営方針

校訓 【 創造・勤勉・友情 】

### ○ 学校経営理念

「一人一人 一つ一つ を大切に」

- ・私たちは、一人一人 一つ一つを大切にします。
- ・夢と希望のあふれる学校にします。
- ・“心豊かな子どもたち”を育てます。

### ○ 学校教育目標

生徒一人一人の個性やよさを尊重し、生きる力（豊かな心、確かな学力、健やかな体）をそなえた、魅力あふれる生徒の育成を目指す。

#### （1） 目指す学校像

- ① 生徒の夢と心が育つ学校。（“感動が人を育てる”）
- ② 安心して生活することができ、自己存在感を実感できる学校。
- ③ 保護者・地域に支えられる学校。（保護者から信頼される学校）

#### （2） 目指す生徒像

- ① 利他の精神を持ち、他人への思いやりにあふれる心豊かな生徒。
- ② 向学心に富み、将来の夢に向かって努力を続ける生徒。
- ③ 一人一人の違いを認め、人の心の痛みがわかり、決して人を差別したり、いじめたりしない生徒。
- ④ 誰に対しても笑顔で接し、よい行いを行動に移せる生徒。
- ⑤ 基本的な生活習慣  
“時を守り 場を清め 礼を正す”を実践する生徒。

#### （3） 目指す教師像

- ① 優しさと厳しさを持ち、深い愛情のもと、粘り強く教育にあたる教師。
- ② カウンセリングマインドを大切にし、生徒、保護者、地域との信頼関係を築く教師。
- ③ 初心を忘れず、自ら研修を深め、専門職として資質向上に努める教師。

## 【目標達成のための、具体的な取り組み】

- 生徒理解に努める。
  - ・生徒理解を深めることで、個々のよさを発見し、その伸長を図る。
  - ・全職員が全生徒の名前を覚えることを目標に、積極的に生徒との関わりを持つ。
  
- 不登校生徒を支援し、対応に関する意思疎通（共通理解）を図る。
  - ・教室で学習できる状態を目標とし、本人の状態をしっかりと把握した上で、保護者と連携を取りながら、よりよい対応を目指す。
  - ・学級担任や学年職員と、特別支援コーディネーター・生徒指導主事・不登校対策学校支援講師、養護教諭、管理職等が共通理解を図り、関係機関と連携を図りながら、不登校生徒への支援を行う。
  
- 学力・体力の向上を図る。
  - ・高校入試や大学入試の変化に対応し、主体的、対話的で深い学びが実践できるような授業改善を行う。（ICT 機器の利用推進）
  - ・保健体育の授業や部活動を通し、好ましい運動習慣を身につけさせる。
  
- 特別な支援を要する生徒に、適切な支援を行っていく。
  - ・特別支援学級生徒および通常学級生徒において、特別な支援を要する生徒に、組織的に適切な支援、指導助言を行っていく。
  
- 業務改善を継続していく。
  - ・ワークライフバランスを重視し、業務改善に努め、職員がやる気を持ち、生き生きと従事できる職場環境作りに努める。
  - ・勤務時間外の在校時間の削減につながるような、業務体制作りに努める。
  
- 地域以降に伴う部活動の指導の在り方を見直す。
  - ・部活動の指導体制や地域団体等との関係を、時代に適したものに変わっていく。
  
- 不祥事の起こらない職場環境を作る。
  - ・不適切な言動、体罰、悪質な交通違反、不明瞭な会計処理などが起こらないように、日頃の声かけや研修等を通して、不祥事〇を実現する。

## 《豊かな人間形成》

1. 支え高めあう学級づくり
  - ・学校教育活動全体を通して生徒の心に訴える教育活動を行い、道徳の時間の充実を図りながら、豊かな人間形成に努める。
  - ・どの生徒も、どこかの場面で「ホッとできる居場所づくり」を目指し、一人一人の自己存在感を育む。
2. 人権教育の推進
  - ・「いじめは絶対に許さない」という強いメッセージを学校として常に発信し続けるとともに、教育相談活動の充実にも努める。
  - ・保護者や地域、関係機関との密な連携を図りながら、学校を支援してもらうような良い関係を構築する。
3. 感動ある行事作り
  - ・「感動が人を育てる」の言葉を大切に、教師と生徒がともに感動できる行事を作り上げる。
4. 創造的な生徒会活動
  - ・生徒の自治能力を高め、生徒が自らの手で学校を創り上げていこうとする意識を育てる。

## 《確かな学力の保障》

1. 授業を中心に据えた、学びの充実
  - ・学習規律の確立と指導方法の改善に努め、「主体的・対話的で深い学び」を目指した研修を通して学習する喜びを感じさせる。(ICT 機器利用の促進)
2. 学校図書館教育の推進
  - ・学校図書館を有効に利用することで、読書好きな生徒を育成する。
3. 特別な支援を要する生徒への支援
  - ・関係機関と連携を図りながら、特別な支援を要する生徒への支援を行う。
4. 職員研修の充実
  - ・教員としての資質向上のために、効果的な校内研修を行う。

## 《健やかな心身支援》

1. 成長を支援する生徒指導
  - ・ 基本的な生活習慣を確立させ、生徒の自己実現を支援する。
  - ・ 自分を大切にする心、他を大切にする心を育て、“正義が通る充実した生活を送れる学校” 作りを目指す。
2. 命を守る安全・防災教育
  - ・ 地震、津波、火災などの自然災害を想定した防災教育や、犯罪を想定した避難訓練、感染症予防などの健康教育を推進していくことで、命の大切さを認識させる。
  - ・ 学校内の危険個所の点検を徹底して行い、学校施設による事故が絶対起こらないように全職員が意識を高く持つ。
  - ・ 登下校時の安全確保に力を入れ、保護者との連絡を密にする。
  - ・ 不登校生徒に対して、個々の状況に応じたきめ細かな指導を行う。
3. 心身を鍛える、清掃時間・体育の授業・部活動
  - ・ 清掃活動を通して、心の成長を図る。
  - ・ 目的を明確にした体育の授業を通して、体力向上を図る。
  - ・ 創意工夫を生かした部活動を推進し、家庭や地域の協力を得ながら、健やかな心身の育成を図る。

※ 生徒・職員・保護者・地域が、「豊かな心」「思いやりの心」を大切にし、“挨拶の声”と、“ありがとう”の言葉が飛び交う、学校づくりを目指す。

